

新JPドメイン名について(案)

使いやすいドメイン名を目指して

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター



本提案の位置付け

- 「新JPドメイン名に関する検討タスク
フォース」からの提案
- 今後の検討の進め方
 - 関連機関、JPNIC会員、一般の皆様からご意見を頂き、さらに検討を進める
- ご意見送付先
 - dotjp-cmt@nic.ad.jp 宛にお送りください



JPドメイン名の現状

- 1つの組織が登録できるドメイン名は1つ
- ドメイン名の移転(譲渡)は原則禁止

提案1

新たなドメイン名空間を提案

- セカンドレベルドメイン名(SLD)を登録
- 現行ドメイン名空間と新たなドメイン名空間の併存
- 登録例

3LD(現ドメイン名空間)

AAA.**.JP

↑サードレベルドメイン名

SLD(新ドメイン名空間)

AAA.JP

↑セカンドレベルドメイン名



新たなドメイン名空間の特徴

- SLDに3文字以上のドメイン名を登録
(例) xxx.jpを登録
- 個人での登録も可能
- 1組織で複数のドメイン名を登録できる
- ドメイン名の移転は自由



新たなドメイン名空間の登録受付ルール

- 原則
 - 先願方式(申請順に登録)
- ただし新設時は申請の集中による混乱を避けるため、特別ルールで調整を行う



新設時の登録受付ルール

■ 既存の登録者に、同じ文字列の **SLD**を優先的に登録

- 文字列がバッティングする場合は登録が早い方を優先

(例) AAA.jp の場合

AAA.co.jp (登録 1996/01/01) : A社

AAA.ne.jp (登録 1997/01/01) : B氏

AAA.gr.jp (登録 2000/01/01) : C団体

→ A社に優先権

- この優先ルールは申請があった場合のみ適用される
- 2000年3月31日時点で登録されているドメイン名に限る



登録費用等の徴収方法

- 現在

- JPNICへ直接申請する場合 2万円
- JPNIC会員へ申請を依頼する場合 5千円+α

- 新ドメイン名空間

料金の詳細は検討中

- 申請時手数料
- 維持料



提案2

既存ドメイン名空間の制限緩和

- 移転の自由化
 - 当事者同士の合意がある場合は移転自由
 - ただし登録資格を有する組織への移転に限る
- 下記の原則は維持
 - 1組織1ドメイン
 - 登録組織/登録者は日本に存在すること



スケジュール

- 提案1 新ドメイン名空間の創設
 - 2001年4月登録・運用開始を目指して検討を継続

- 提案2 既存ドメイン名空間の制限緩和
 - 2000年秋開始を目指して検討を継続